

No.	8-1-2	場所	長谷村	次世代への継承キーワード
名称	三峰川の濁流（橋付近）			地域コミュニティ / 早期避難
災害現象	洪水氾濫			河川 三峰川
補足事項				支流

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

三峰川上流の戸草(伊那市長谷)、山室川芝平地区では地すべりが起こり、河川氾濫と土砂崩れも至るところで発生しました。道路も流れ、土砂は家の中に流れ込み、子供が亡くなりました。

また、下流部では天竜川の合流点付近を中心に堤防が一部で決壊、家屋の浸水などの被害もたらされた。

また、集団移住をよぎなくされる地域もありました。

●体験談：災害時 長谷村長谷中学校 2 年生
 「里美、起きろ！」という姉の声で目がさめた。さっきまで降っていた雨も、もうすっかりやんでしまっていた。起きてみると、家には、おばあちゃんと、姉と、私、そして、何も知らないでぐっすりとねむっている妹だけだった。父も母も川の線が変わったと言って、どこかへ行ってしまったようだった。
有線は、「早く避難して下さい。早く避難して下さい。」
とアナウンサーも大あわて。火の見やぐらでは、ジャンジャン鐘をたたいて水が来るのを知らせていた。なにがなんだかわからないまま、二階や高い所に色々の物を運び上げた。からだはガタガタ震えだした。
時間がたつにつれて、「おーい、おーい」という声や「水が来るぞ。」
という消防団や村の人達の声で、昼間より騒がしかった。家の中はまるでがらんとしていた。いつもとは変わった空気が流れていた。
 (「濁流の子」より)

記 録



三峰川の濁流

出典 「ふるさと長谷村」p 14/ 「濁流の子」 p.161

備考

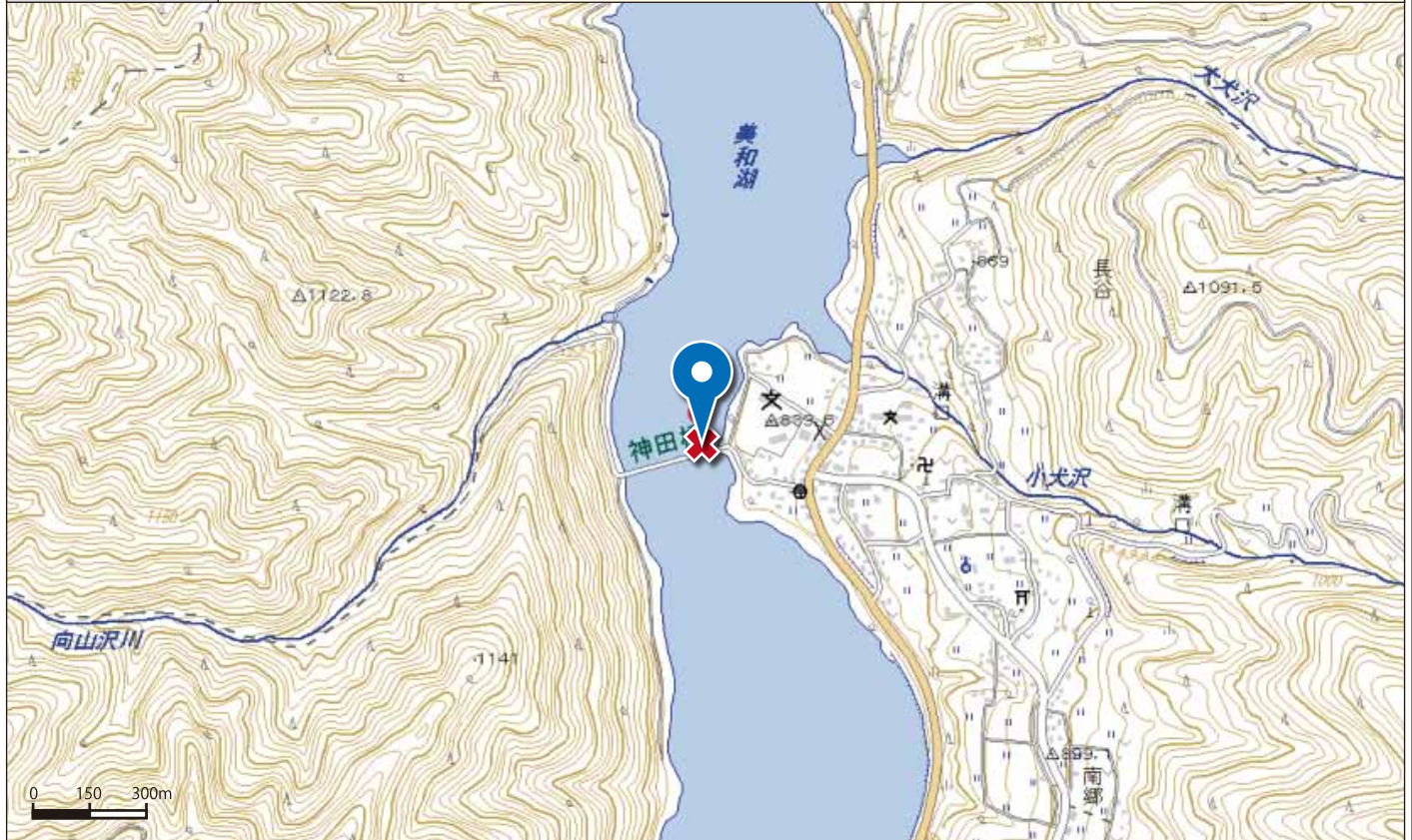
No.	8-1-2	場所	長谷村	緯度	35.792945
-----	-------	----	-----	----	-----------

名称	三峰川の濁流（橋付近）	経度	138.081172
----	-------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。